

第二十六回帝國議會
衆議院

關稅定率法改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十三年二月十四日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君	紫垣 一雄君	千早 正次郎君
綾部 惣兵衛君	淺羽 靖君	木村 良君
片岡 直温君	村松 恆一郎君	早速 整爾君
大久保弁太郎君	太田 清藏君	武藤 金吉君
石橋 爲之助君	川真田德三郎君	川村 曄君
鷺田 土三郎君	箕浦 勝人君	高山 長幸君
村上 先君	山田 又七君	井上 角五郎君
鹿島 秀磨君	秋岡 義一君	千田 軍之助君
田中 龜之助君	築山 和一君	森田 勇次郎君
高橋 光威君	山本 悌二郎君	翠川 鐵三君

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣 伯爵小村壽太郎君

出席政府委員左ノ如シ

外務省通商局長 萩原 守一君

大藏省關稅局長 櫻井鐵太郎君

農商務省商務局長 大久保利武君

統監府書記官 伯爵兒玉 秀雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法改正法律案

○委員長(野田卯太郎君) 會ヲ開キマス、前回ノ續、大體ニ付テ御質問 アランコトヲ希望シマス

○木村良君 私ハ前回ニ大體ニ付テ質問ヲ致シマシテ、不得要領ノ答ヲ得タノデアリマス、ソレ故ニ重テ茲ニ御尋致シタイノデアリマスガ、ヤハリ便宜ノタメニ箇條ヲ別ケテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、前回ニ我國ノ關稅率ノ概シテ低率ニ失スルノ感ガアルト云フコトヲ申述ベシマシタガ、ソレニ對シマシテ然ラズト云フ答デアリマシタ、此ニ於テ此點ニ付テ御質問ヲ致シマスガ、若シ實際低率ニ失スルコト云フコトデアリマシタナラバ、政府ハ果シテ之ヲ増率スルノ勇氣アルヤ否ヤ、是ガ第一デアリマス、ソレカラ第二ニハ、二十五議會ヲ通過シタ穀物ノ關稅増率ニ付キマシテハ、政府ハソレヲ採用セヌト云フコトデアリマシタ、之ニ付テノ私ハ議論ハ致シマセヌ、唯其採用 シナイト云フ理由ニ付キマシテ、政府ハ果シテ今度ノ稅率ヲ以テ、我國ノ穀物が相當ノ發展ヲスルモノト認メタルカ、モウ一ツハ之ヲ以テ相當ノ發達ハ認メナイノデアルケレドモ、一部ノ實業家、若クハ虛業家、或ハ買喰ニ——言ヲ藉リテ已ムヲ得ズソレハ買喰政策ヲ執ルノ已ムヲ得ザルモノトセラレ

タノデアリマスカ、是ガ第二ニ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ第三ニハ、ヤハリ前回確カ高山君デアット覺エマスガ、保護主義ト收入主義トニ付テ御質問ガアリマシタガ、政府ハ之ニ對シテ親切ナ御答辯ガアルベキ答デアルト存ジテ居タノデアリマス、然ルニ其答ハ頗ル曖昧ガアリマシタ、私ハ茲ニ誠ニ御答ノ仕易イヤウナ問ヲ以テ、一二御問ヲシタイト思フノデアリマス、ソレハ普通作物ニシテ果シテ將來保護ノタメニ、發展向上ノ見込アル作物ニ對シテハ、保護主義ヲ執ラレタルヤ否ヤ、是ガ一ツデアリマス、工藝作物、即チ工業用原料品ニシテヤハリ相當保護ノ途ヲ執ルナラバ發展ノ見込アルモノニ對シテハ、保護政策ヲ執ラレタルヤ否ヤ、是ガ第三ノ質問デアリマス、第四ニハヤハリ私ガ前回ニ御問致シマシタ食料品ノ獨立ト云フモノハ、頗ル必要ナ事柄デアアル、從ツテ之ニ對シテ相當ノ保護政策ヲ執ルベシト云フコトヲ申述ベシマシタ、大藏大臣ハ質問者ノ意見ト同様デアルト云フ御答ヲ得タノデアリマス、然ルニ之ニ對シマシテ如何ナル點ニ於テ、是ガ事實ニ現ハレテ居ルカト云フコトヲ伺ヒマシタ際ニ、ヤハリ大藏大臣ソレハ意見ノ相違デアルト云フ答デアッタノデアリマス、私ノ思ヒマスルノニ是ハ決シテ意見ノ相違ニアラズシテ、事實ノ相違デアアルノデアリマス、故ニ願クハ此際相當保護ノ政策ヲ執ラレタリト云フコトノ事實ガ有リマシタナラバ、願クハ一二ヲ指摘シテ戴キタイノデアリマス、イロ／＼自分ノ質問ノ理由ハアリマスケレドモ、簡略ガ貴ヒマスカラ項目ダケニシテ置キマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 第一ノ御尋ハ、今回此改正案ニ舉ゲデアリマス稅率ガ低キニ失シハシナイカ、若シ失シテ居レバ之ヲ増率スル勇氣ガアリヤ否ヤト云フ御趣意ト承ハリマシタガ

○木村良君 左様デス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 政府ノ見ルトコロニ依リマス、此改正案ハ重キニモ失シテ居ラズ、又輕キニモ失シテ居ラズ、適度ヲ得テ居ルト認メテ之ヲ極メテ譯デアリマス

○木村良君 若シ輕キニ失スルト認メタラドウデス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 之ヲ極メテ趣意ヲ申上ゲマスガ、重キニモ失セズ輕キニモ過ギナイ、丁度適度ヲ得テ居ルト云フコトヲ信ジテ之ヲ極メテ譯デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ第二ニハ政府ニ於キマシテモ、米ノ輸入稅ニ關シテハ最モ慎重ナル考慮ヲ加ヘマシタ、結局現狀維持ト云フコトガ最モ時機ニ適シタル所置ト認メマシタ、米ノ輸入稅ニ關シマシテハ、増減ナシト云フコトニ極メテ譯デアリマス、ソレカラ第三ニハ將來發達スル見込アルモノニ對シテ、保護ヲ加ヘテ居ラウカト云フ御趣意デゴザイマス、第三ニハ

○木村良君 サウデス、將來發達ノ見込アル普通作物、若クハ特用作物ニ付テ、保護ノ主義ヲ以テ此現行率ヲ定メタルヤ否ヤ、斯ウ云フノデス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 各物品ニ付テ見マセヌト能ク分リマセヌガ、固ヨリ原則トシテハ將來發達ノアル見込アルモノハ、多少保護ノ途ヲ加ヘテ居リマス、同

時ニ此關稅率ヲ極メルニハ、各種物品ニ對スル稅率ノ權衡ト云フコトモ見ナケレバナリ
マセヌ、又各產業間ノ調和ヲ圖ルト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌカラ、單ニ一概ニ
ドウト云フ譯ニハ往カヌノデアリマス、其邊ノ各種ノ事情ヲ篤ト考ヘマシテ、稅率ヲ極メ
タ譯デゴザイマスルガ、先ヅ原則トシテハ、將來發達ノ見込アルモノト、無イモノトハ、深ク
研究致シマシテ、其實況ヲ調ベタ譯デゴザイマス、ソレカラ第四——モウ一ツゴザイマシ
タネ

○木村良君 食料品獨立ノ必要ナル點カラシテ、是ハ政府モ御同意デアルサウデアリ
マスガ、其食料品獨立ノ必要上ヨリ、今度御提出ノ案ニハ如何ナル所ニ於テ、其精神ガ
現レテ居リマスカト云フコトヲ御尋シタデアリマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 固ヨリ食料品ノ獨立ト云フコトハ此國ヲ建テル
上ニ付テハ、最モ大切ナコト、認メテ居リマスルガ、併ナガラ最前申上ゲマス通り、各種
產業ノ調和ヲ圖シテ、各種ノ產業ガ一ニ偏セズニ、相共ニ併進シテ行クト云フコトモ亦
是モ國家經濟上必要デゴザイマスルカラ、其邊ノコトモ篤ト研究致シテ保護率ハ極メテ
アルノデゴザイマス、又其額ニ付テハ、其品ニ付テ何レ御問ガアレバ分リマセウカラ、其節
申上ゲタ方ガ便利ダラウト考ヘマス

○木村良君 第二ニ付テ御答辯ハ頗ル要領ヲ得ナイデアリマス、私ノ伺ヒマシタノ
ハ、穀物ノ關稅増率ガ我衆議院ノ輿論デアリニ拘ラズ、政府ハ之ヲ採用セナシタデアリ
マス、ソレハ果シテ現行率ヲ以テ我國内ニ於テ增收供給ノ見込アリト信ジタカラデアツタ
カ、將タ信ジハシナイガ、買喰ト云フコトハ已ムヲ得ヌト認メタデアリカ、其點ヲ伺ヒタイ
ノデアリマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 最前申上ゲマシタ通りデゴザイマシテ、此問題ニ付
テハ深ク研究ヲ加ヘマシタ、其結果先ヅ此現狀維持ト云フコトガ一番穩カデアラウト云
フ主義デ極メタ譯デゴザイマス

○木村良君 愈々分ライノデス、御攻究ニナツタコトハ萬承知致シテ居ルデアリマス、
御攻究ノ上デ現行率ニ止メラレタト云フノハ、是デ以テ我國ノ食料ガ十分ニ供給シ得
ルト認メラレタデアリカ、得ナイケレドモ已ムヲ得ズ此率ニ止メタト云フノデアリカ、其處
ヲ伺ヒタイノデアリマス、御攻究ト云フ點ハ無論御攻究ニナツタラウト信ジテ居ルデアリ
マス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 能ク御質問ノ趣意ガ私ニ了解致シ兼ねマスガ、
此米ノ供給ガ内地產デケテ十分デアルカラ、稅率ハ是デ宜シト云フコトデ極メタデア
ルカト云フ御尋デアリマスカ

○木村良君 衆議院、即チ本院ニ於キマシテハ、穀物ノ増率ヲ致スニアラズンバ、所
謂相當ノ保護ヲ加ヘルニアラズンバ、内地ニ於テ食料ノ獨立ハ爲シ得ザルモノナリト云フ
理由ノ下ニ、二十五議會ニ於テハ増率ヲ可決致シマシタデアリマス、然ルニ現行率ノ儘
デアルト云フコトハ、政府ハ此率デ以テ十分ニ供給シ得ラルベシト信ジタデアリカ、將タ
信ジハシナイガ已ムヲ得ザルモノナリ、即チ買喰ハ誠ニ已ムヲ得ザルモノナリト考ヘテ、現
行率ニ止メラレタデアリマスカ、此點ヲ伺ヒタイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 分リマシタ、此内國ノ需用ヲ滿タステメニハ、内

國產ノ米デケテ十分デアルト云フコトヲ認メタ譯デハゴザリマセヌ、最前申上ゲマス通り、
此各種ノ產業ノ調和ヲ圖ルト云フコトモ考慮ヲ加ヘナケレバナリマセヌカラ、先ヅ此稅率
ガ今日ニ於テハ適度デアルト云フコトコトデ、此現狀維持ト云フコトニ極メタ譯デアリマス
○高橋光威君 此韓國ニハ我國ガ多大ノ費用ヲ費シテ、其國ノ產業ヲ圖ルト云フコトニ
努力シテ居ル譯デアリマスガ、韓國ニ對スル關稅ハ如何ニ之ヲ爲サレノデアリマスルカ、
一般ニ此定率法ヲ實施スルト云フコトニナリマスレバ、折角我國ガ多大ノ金ヲ投ジテ其
產業ヲ開發シテ、而シテ又其產物ヲ輸入スルニ付テハ更ニ一般ノ稅率ヲ行フ場合ニ
ナリマスレバ、我國ノ國民ハ其負擔ヲ——多大ノ金ヲ投ジテ開發シタ上ニ、更ニ其產
物ニ付テ負擔ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ譯ニナルデアリマスルカ、是ハ前回ニ於テモ
何トカ御工夫アルガ如ク伺ヒテ居リマスガ、如何ナル方法ヲ以テ如何ニ之ヲ定率法ヲ行ッ
テ往カレカ、又ハ特殊ノ法ヲ行フデアリマスルカ、是等ハ今其穀物、即チ食物獨立テ
ド、云フヤウナコトニモ餘程ノ關係アル問題デアルト思フデアリマスガ、若シ已ムヲ得ザ
レバ秘密ニ此點ヲ伺ヒテモ宜シイ次第デゴザイマスガ、相成ルベクハ詳細ニ其御答辯ヲ煩
シタイト思フデアリマス、即チ其御考一ツニ依リマシテハ、穀物ノ關稅ノ稅率ヲ定メル
ニ付キマシテモ餘程ノ關係ガアルコト、信ズルデアリマス、ソレカラモウ一ツニハ、此法案
ガ可決サレマシテ御公布ニナリマシタナラバ、實施セラル、其間ニ多大ノ見越輸入ガアル
コトハ免レナイコト、思フデアリマス、若シ多大ノ見越輸入ガ免レナイモノトシタナラバ、
内地ノ產業又ハ商工業ニ、即チ農商工業ニ多大ノ惡影響ヲ來スコト、信ズルデアリ
マス、政府ハソレニ對シテ何カ一時的ノ豫防ノ方策ヲ御考ニナツテ居リマスルカ、何トカ
此適當ノ方法ヲ御考ニナツテ居リマスルナラバ、其一端ヲ洩サレテ、惡影響ノ甚大ナラ
ザルコトヲ希望スルデアリマス、ソレカラモウ一ツニハ大體ノコトニ關係シテ居リマスル
ガ、議會ニ於テ此關稅定率法ヲ研究ノ上、是ニ協贊ヲ與フルト致シマシテ、而シテ又政
府ニ於テハ條約改正ノ結果、協定稅率ヲ或國ト協定セラレルト云フコトガアリマシタナラ
バ、ソレハ條約トシテ公布セラレルモノダラウト思フデアリマスガ、一方ニハ關稅ガ議會ノ協
贊ヲ經テ、國民ノ負擔關スル定率法ヲ御定メナリ、一方ニハ折角定率法トコロノ國定
稅率ガ、協定ノタメニ破ラレテ、一部行ハレナイト云フ結果ニナルニハ相違ナイコトダラウ
ト思フデアリマス、然ルニ此條約ノ結果ハ、協定稅率トシテ現ハレテ、議會ノ協贊ヲ
求メラレテ、決定シタモノガ一部行ハレナイ結果ニナリマシテ、即チ國民ノ負擔ニ相違ヲ
來スコト、ナルデアラウト思フデアリマス、然ルニ憲法ニ於テ二十一條ニ「日本臣民ハ
法律ノ定ムル所ニ從ヒ納稅ノ義務ヲ有ス」デアリマス、即チ法律ノ定ムル所ニ依ッテ納稅
ノ義務ヲ有スルデアリ、又三十七條ニ「凡テ法律ハ帝國議會ノ協贊ヲ經ルヲ要ス」ト
アル、六十二條ニハ「新ニ租稅ヲ課シ及稅率ヲ變更スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ」トア
ル、而シテ六十三條ニハ「現行ノ租稅ハ更ニ法律ヲ以テ之ヲ改メサル限ハ舊ニ依リ之ヲ
徵收ス」トアル、總テ國民ノ負擔ニ關スルコトハ法律ヲ以テ定メ、議會ノ協贊ヲ經ナケ
レバナラヌコトニナツテ居リマスルノニ、協定稅率ヲ以テ此國定稅率ヲ變更スル場合ニ
於テハ、議會ノ協贊ヲ求メラル、御趣意デアリマスガ、慥カ明治二十六年ノ議會デア
シマシタカニハ、此議會ノ決議ヲ以テ、條約改正ノ場合ニ於テ、此協定率ヲ定メラレマ
シタ場合ニ於テハ、議會ノ協贊ヲ求メルモノト衆議院デ決議シテ居リマスルニ拘ラズ、

其後條約改正ノ結果、政府ハ議會ノ協賛ヲ更ニ求メズシテ、條約ハ條約トシテ獨立ノモノニサレテ、協定稅率ト云フモノヲ公布セラレテ、今日ニ於テ折角定メテ置キマシタ國定稅率ノ大部分ハ、協定稅率ノタメニ行ハレテ居ラレナイヤウナ實地ノ有様デアリマスガ、今後條約改正ノ結果、若シ國定稅率、即チ議會定メマシタ關稅ニ影響ヲ來シテ、一部分行ハレナイヤウナコトガアリマスレバ、即チ國民ノ負擔ニ多大ノ變更ヲ來スモノデアリマシテ、議會ノ協賛ヲ經テ、即チ此六十二條、六十三條ノ憲法ノ明文ニ依ツテ租稅ノ負擔ト云フモノハ、法律ニ依ツテ變更スル場合ニ於テハ、法律ニ依ツテスベキモノデアリニモ拘ラズ、條約改正其モノ、自然ノ結果トシテ、直ニ此變更シタル稅率ハ、國民ノ負擔ニ影響ヲ來ス場合ニ於テモ、尙議會ノ協賛ヲ求メラズシテ、直ニ之ヲ行ハル、御意見デアリマスカ、其邊ノ政府ノ御考ヲ伺フテ置キタイノデアリマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 第一ハ此日韓ノ關稅ニ付テノ御尋デゴザイマシタカネ、サウデゴザイマシタ

○高橋光威君 左様デゴザイマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 御承知ノ通り韓國ト列國トノ間ニ條約ガアリマシテ、關稅ノコトハ定ツテ居リマス、又我帝國ト列國トノ間ニ條約ガアリマシテ、是モ關稅ノコトハ定ツテ居リマス、今日デハ韓國ニ對シテ特例ヲ設ケルト云フ譯ニハイカヌノデゴザイマス、若シ韓國ノ或物ニ對シテ減稅又ハ免稅ト云フコトニナリマスルト、各國ハ日本トノ條約ニ依ツテ、免稅又ハ減稅ニ均霑スルコトニナリマスカラ、今日ノ現行條約ノ下ニ於キマシテハ、特ニ韓國ニ對シテ特典ヲ與フルト云フ譯ニハイカヌノデアリマス、故ニ今回ノ條約改正ニ於キマシテハ、若シ日本ガ韓國ニ對シテ關稅上特例ヲ設ケルト云フコトヲ必要又ハ得策トスル場合ニ於テハ、各國ニ均霑ヲ許サズニ、ソレガ實行出來得ルヤウナ取極メヲ致シテ置ク考デゴザイマス、若シ此方ノ希望通り其事ガ實行ニナリマスレバ、唯今ノ御希望モ達スルコトニナルノデゴザイマス、是ハ政府ノ定メタコトデゴザイマスカラ、若シサウナリマスレバ日本定メタル通り實行出來得ルコトニナリマス、ソレカラ第二ハ何デゴザイマシタカネ——此見越輸入ノコトニ付キマシテハ、前回ノ委員會ニ於キマシテモ申述ベテ置キマシタガ、是ハドウモ豫防ノシヤウガナイノデアリマス、御承知ノ如ク現行條約ニ於テハ我國定稅率ヲ改正シテ、ソレヲ實行スル場合ニハ六箇月以前ニソレヲ公布セヨト云フ規定ガアリマスカラ、少クモ關稅率ノ方ノ公布ト其實施ノ間ニハ六箇月間ノ餘裕ヲ置カヌケレバナラヌコトニナツテ居リマスカラ、之ニ對シテ豫防ヲスルト云フ方法ハナイノデアリマシテ、是マデモ屢、此關稅率ノ變更ノアル毎ニ、政府デハ大ニ苦シンダ譯デアリマス、併ナガラ之ヲ現行條約ニ依ツテ拘束ヲ受ケテ居ルノデゴザイマスカラ、來年七月此條約ガ消滅致シマスレバ、其後六元ヨリ此拘束ヲ受ケヌコトニナリマスカラ、若シ見越輸入ノ弊ガアリマシテモ、先ヅ今回限リト考ヘテ居リマス、此後若シ關稅ノ改正ト云フコトガアツタ場合ニハ、其憂ガナクナル、關稅改正法ヲ公布シテ即時ニ實施シテモ宜シイヤウニナリマスルガ、今回ニ限ツテハ此見越輸入ヲ豫防スル方法ヲ取ルト云フコトハ、如何トモ仕方ガナイ、第三ハ此協定稅率ノコト、是モ前回委員會デ詳シク申上ゲテ置キマシタ、此輸入稅率ニ關シマシテハ、國定稅率ニ依ルコトヲ原則ト致シテ居ルノデ、若シ此場合ニ或國ト協定稅率ヲ定メルコトニナリマスレバ、是ハモウ一二ノ例外デゴザイ

マシテ、今回此法案ガ確定致シマスレバ、輸入品ノ大部分ハ國定稅率ヲ提供スルコトニナルノデゴザイマス、今度條約改正ヲ致シマスル國ハ十四箇國アリマスケレドモ、其内ニ此協定稅率ヲ爲シ得ル國ハ一ツカニツホカゴザイマセヌ、固ヨリ此現行條約ノ協定稅率ノ如ク、所謂片務的協定デゴザイマスレバ、何レノ國トモ協定ガ出來ヌケレドモ今度ノ條約改正ニ於テ協定致シマスルノハ片務的デハゴザイマセヌ、即チ双務的、兩方共ニ稅率ヲ協定スルコトニナルノデゴザイマス、サウ致シマスルト協定ニ應ズル國ハ誠ニ僅少デゴザイマシテ、先ヅ一國或ハ二國ト考ヘテ居リマス、從ツテ協定稅率ヲ課スル物品ノ數モ誠ニ僅少デゴザイマス、其物品ニ付キマシテハ、或物品ノ如キハ是ハモウ絕對ニ協定ハ出來タノデゴザイマス、又或物品ニ付テハ協定ヲ致シテ、國定稅率ニモ多少稅率ヲ下ケマシテモ、我產業ニ對シテ至大ノ影響ヲ及ボスコトハナカラウト信ジテ居ル品モアリマス何レニ致シマシテモ、此協定ニ屬スル物品ハ誠ニ僅少デゴザイマスカラ、此國定稅率ニ、多大ノ影響ヲ及ボスト云フコトハ是ハ萬々ナイノデゴザイマス、其邊ハ能ク御諒求ヲ願ツテ置キマス、ソレカラ若シ協定ヲシタ場合ニハ、議會ノ協賛ヲ求メルカト云フ御尋ガアリマシタガ、是ハ御承知ノ如ク條約ノ締結ハ、天皇ノ大權ニ屬シテ居リマスカラ、條約定メタコトハ議會ノ協賛ヲ求メル譯ニイカヌノデアリマス、既ニ現行條約定メタアリマスル此稅率モ議會ノ協賛ヲ求メルニ條約ノマ、實行ニナツテ居ル譯デゴザイマスカラ、既ニモウ先例モアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○高橋光威君 條約ガ

天皇ノ大權ニ屬スルト云フコトハ勿論憲法ノ明文ニアリマスル、吾々風ニ是ハ承知シテ居ルコトハ申スマデモアリマセヌガ、併シ苟モ納稅ノ義務ト云フモノハ、日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從ツテ納稅ノ義務ヲ有スルモノデアリ、且ツ稅率、變更ヲ來シテ負擔ノ上ニ變更ヲ來スヤウナ場合ニナリマスレバ、其時ニハ法律ニ從ツテ之ヲヤルト云フコトハ憲法ノ明文ニ昭々トシテ明カナル譯デアリマス、ソレデ管ニ一箇條ノミナラズ、數箇條ニ涉ツテ國民ノ負擔ニ變更ヲ來ス場合、又ハ新タニ租稅ヲ負擔スルト云フ場合ニハ、法律ヲ以テスルト云フコトニナツテ居リマスノニ、成ルホド條約ノ締結權ハ、天皇ノ大權ニ屬スルコトハ申スマデモゴザイマセヌケレドモ、併シ憲法ニ於テ明瞭ニ、國民ノ負擔ハ法律ニ依ル、即チ議會ノ協賛ヲ求メテヤルト云フコトヲ繰返シ、言ハレテ居ル、臣民ノ一ツノ權利デモアリ、又同時ニ義務デモアリマス、是ハ内外ノ學者ハ非常ニ論ジテ居ルトコロデアリマシテ、決シテ輕々ニ論ジ去ルコトノ出來ナイモノデアリマスケレドモ、政府ハ此前ノ條約、即チ現行條約ヲ實施スル場合ニ於テハ、更メテ議會ノ協賛ヲ求メズシテ、條約ハ條約トシテ公布シテ國內ニ施行シタヤウナ譯デアリマシテ、當時内外ノ學者之ヲ非難スル者モアリ、或ハ贊成シタ者モアリマシタガ、非難シタ學者ガ甚ダ多カッタノデアリマス、殊ニ當議會ニ於テハ明治二十六年デアリマシタ決議ヲシテ政府ニ贊成シテ居ル答デアリマシタガ、今後ノ條約改正ニ於テハハハリ前ト同様、條約ハ條約トシテ其儘ソレヲ國內ニ公布サレルト云フ考デアリマスルカ、但シハ又憲法ノ明文ニ從ツテ變更サレタルコロノ負擔ヲ國民ニ命ズルニ當ツテハ、更ニ議會ニ協賛ヲ求メル考デアルカト云フコトヲ伺ッタノデアリマシテ、天皇ノ大權ニ屬スルト云フコトハ承知シテ居リマス、併シ政府ハ如何ナル所信ヲ以テ、ドウ云フ理由ヲ以テ、議會ノ協賛ヲ求メズシテ定メラレタルコロノ協定稅率ノ變更ヲ來シタ其負擔ヲ國民ニ命ゼラル、ノデアルカ、

如何ナル所信アルカト云ウコトヲ伺フタノデアル、ソレカラモウ一ツハ前ノ此見越輸入ヲ防グコトノ出來ナイノハ勿論確信ノコトデアリマセウガ、何等カノ方法ヲ以テ、例ヘバ金融機關操縦ノ手段ヲ以テカ、又ハ内外ノ何カ一個ノ政策ヲ施シテ、此見越輸入ヲ成ルベク防グト云フヤウナ、何等カノ手段方法ヲ攻究サレテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアル、絶對的ニソレハ無いノデアルカ、但シハ政府ハ何等カノ方法ヲ以テ見越輸入ノ甚ダ多カラザルコトヲ希望シテ、サウシテ其希望ヲ實施スルタメニハ如何ナル方法カヲ講ジテ、之ヲ成ルベク少ク止メルト云フヤウナ手段方法ヲ攻究サレテ居リマスカト云フコトヲ伺フデアリマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 見越輸入ノコトニ付キマシハ、是マデ政府モ再三苦シメ居ル、其都度攻究致シタルデアルガ、奈何セン如何ナル方法モゴザイマセヌ、今回モヤハリ同様デ、攻究致シテ見マシタガ適當ナ方法ハ發見致シマセヌ、仕方ゴザイマセヌケレドモ、是ハ今回限リデゴザイマスカラ、ソレデ御諦メテ願ヒマス、ソレカラ協定稅率ヲ極メタ以上ハ、議會ハ協贊ヲ求メルカドウカ、政府ノ所信ヲ聽キタイト云フ御尋デゴザイマシタ、政府ニ於キマシテハ條約訂結權ハ絶對ニ天皇ニ屬シテ居リマス、之ニ例外ノナイト云フノガ政府ノ所信デゴザイマス、故ニ前回現行條約ヲ訂結致シマシテ、其條約極メテ居リマス協定稅率ヲ實行スル場合ニハ、議會ハ協贊ヲ求メナカッタト云フノハヤハリ其理由デゴザイマス、條約訂結ノコトハ、全然天皇ニ專屬シテ居ルト云フ譯デアッタ、今日モ尙政府ハ固ク其信ヲ執ッテ居リマスカラ、固ヨリ協定稅率ガ出來マシテモ、ソレニ對シテ議會ハ協贊ヲ求ルコトハ致サヌ覺悟デゴザイマス

○石橋爲之助君 條約改正ニ付テハ、政府ハ十分ニ我國ノ權利ヲ伸張シテ、絶對ニ稅權ノ回復ヲ圖ルト云フ御趣意デアアルヤウニ承知致シマスガ、此趣意ヲ貫カントスル際ニ、何分條約ト云ヘバ對手國ノアルコトデアリマスカラ、先方ニ於テソレニ承諾ヲ與ヘレバ何ノ困難モ無いノデアリマスケレドモ、若シモコチラノ言分ニ正當ナ理由ガアジテモ、或ハ先方ノ意見ニ依ッテ輒スク意見ノ一致ヲ見難イヤウナ場合ニハ、勢ヒ現行條約ハ滿期ニナッテシマフ、サウシテ無條約ノ狀態ヲソコニ生ジテ來ルト云フヤウナコトガアルトスル、其場合ニ於ケル我國ノ利害得失ハドンナモノデアアルカト云フコトモ御研究ニナッテ居リマセウガ、其邊ノ御見込ヲ伺ヒタイ、ソレカラ保護主義ニ付テ、保護主義ト云ヘバ無論產業ノ發達ヲ保護スルコト云フ趣意ニ外ナラヌデアリマセウケレドモ、併シ產業ノ發達ヲ保護スルガタメニ、一方ニ其需用者デアル全國民ガ、ソレト相反シタルコトノ影響ヲ受ケルト云フヤウナコトガアル場合ニハ、ツマリ利益ノ衝突ヲソコニ生ジテ來ル、サウスルト當業者ヲ保護スルコト云フコトニ重キヲ措クガ、國民全般、即チ需用者ノ側ヲ保護スル方ニ重キヲ措クカ、其邊ノ方針ハ如何ニ御決定ニナッテ居リマスカ、ソレカラ輸入免稅品ノ中ニ、陸海軍ノ輸入ニ係ル兵器彈藥及ヒ爆發物ト云フ物ガアリマスカ、斯ウ云フ物ハ陸海軍決シテ拂下ラシナイモノデアリマセウカ、若シ陸海軍ガ拂下ラスルト云フコトデアルナラバ、輸入稅ヲ免シテ輸入シタル物ヲ拂下ケルナラバ、自然内地ニ於テノ生産者トノ競争上餘程ノ相違ヲ生ジテ來ララウ、此邊ノ御考ハ如何デアルカ、此三點ヲ伺ヒタイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 今回ノ條約改正ニ於キマシテハ、固ヨリ稅權ノ回復ト云フコトヲ主眼トシテ居リマスカラ、是ハ飽マデ貫ク決心デゴザイマスガ、唯今ノ仰セ

ノ御懸念、是ハ無いトモ言ヘヌノデアリマス、或ハ對手國ガコチラノ希望通り應ジテ來ナイカモ知ラスノデゴザイマスガ、併ナガラ一旦現行條約ヲ廢棄スルト云フコトニ決心シマシタ以上ハ、是ハ止ムヲ得ナイノデアリマス、サウ云フ結果ニ遭遇スルカモ知レヌト云フコトハ止ムヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ新條約ノ訂結ト申シマシテモ、現行條約ノ終了期限ハ來年ニ迫ッテ居リマスカラ、ソレマデモ各國トノ條約ヲ悉ク纏メルト云フコトモ餘程困難ト考ヘマスカラ、一時ハ無條約ト云フコトニナルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ現行條約ヲ廢棄スル極メタ以上ハ、其覺悟ヲ致シタルデアリマス、其場合ニ即チ此現行條約ヲ終了ト、新條約ヲ實施ノ間ニハ、成ルベク間隙ノナイヤウニ致シタイ希望デゴザイマス、ケレドモ、場合ニ依ッテハ或ハ其通り行カヌカモ知レマセヌ、其時ニハ此新條約ノ締結ニ至ルマデノ間一時ノ便法ヲ設ケタイト考ヘテ居リマス、又便法ヲ設ケルノハ日本ト其對手國トノ双方ノ利益デアルト考ヘマス、其便法ナルモノハ即チ兩國ニ取ッテ最モ緊急ヲ要スル事柄ニ限ッテ、一時ノ暫定取極ヲ爲ス必要ガ生ズルカモ知レヌト考ヘテ居リマス、其即チ關稅ノ如キニ於キマシテハ、現行條約ノ終了ノ結果、對手國ノ輸入稅ニ其最惠待遇ヲ受ケヌト云フコトニナリマス、日本ト其對手國トノ商業上ニ非常ナ影響ヲ來スカモ知レマセヌカ、是ハ双方ノ利益ヲ圖ッテ、一時的ノ協定致シタイ考デゴザイマス、ソレカラ第三兵器ノ輸入……

○石橋爲之助君 第二保護主義ノ方針

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 今度ノ關稅改正案デハ、各品ノ稅率ヲ極メマスカラ、或物品ニ對シテハ固ヨリ保護ノ意味ヲ加ヘデアリマス、保護トナリマスレバ固ヨリ其物品ノ直段ガ上ル譯デゴザイマスカラ、是ハ消費者ノ迷惑ニナリマス、即チ生産者ト消費者ノ利益ノ間ニ衝突ヲ來スト云フ嫌ガナイデモアリマスマイガ、此消費者ト生産者トノ利害ヲ調和スルコト云フコトモ深ク考ヘデアリマス、固ヨリ多少ノ保護ヲ加ヘル物品ハ、將來大ニ發達ノ見込アル物ニ多イノデゴザイマスカラ、消費者ノ不便ハ一時忍ンデ、サウシテ國家經濟ノ發展ヲ圖ルタメニ一時忍ブト云フコトモドウシテモナクテハナラヌデアリマス、併ナカラ一方ニハ保護稅ヲ高ク致シマシテ、其保護ヲ受ケル產業ノ發達ノ速ナルコトヲ希望シマスケレドモ、同時ニ此消費者ノ利益ト云フモノモ考ヘナケレバナリマセヌカ、其邊ノ事モ篤ト研究致シマシテ、先ヅ是ナラバ適當ト云フコトノ稅率ニ極メタ譯デゴザイマス、第二兵器ノ免稅ノコト、是ハ固ヨリ海陸軍ニ於テ之ヲ賣ルト云フ考デ輸入スルノデアリマセヌ、固ヨリ軍用ニ供スルト云フ考デ輸入スルノデアリマスカ、併ナガラ數十年間ニ之ヲ使用シタ後ニ、廢物ニナルカモ知レマセヌ、其時ニハ海陸軍ニ於テ其儘之ヲ保存スルコトハナクシテ、或ハ民間ニ拂下ケルト云フコトガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ大體ノ目的ハ之ヲ軍用ニ供スルト云フコトデアアルノデアリマスカ、若シ之ヲ民間ニ賣却スルト云フコトニハ、其兵器ハ既ニ廢物デアルト云フコトニナッテ居ララウト思ヒマス

○村松恆一郎君 千ヨット御尋致シマスガ、今回ノ改正案デハ、主トシテ從量稅ニ依ルト云フ方針ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、從量稅ト云フコトニナルト、大分其間ニ開キガ生ジテ來テ物價ノ變動ト云フモノガ起ル時分ニハ、必ズ之ヲ改訂ヲシナケレバナラヌ場合ガ起ララウト思フ、現在此日英條約ノ第三條ニハ三箇年目ニ改訂スルト云フヤウナコ

トニナッテ居リマス、兎二角必要ノコト、考ヘマスガ、此點ニ付テハ何カ御取極ナサル御方針デゴザイマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今村松君ノ御質問ハ少シ聽キ間違ヘタカモ知レマセヌ、間違マシタラ更ニ御答ヲ致シマス、今度ノ改正案ハ御問ノ通り各品ニ付キマシテ大體從量稅ニ依ルト云フコトニナッテ居ルコトハ、御覽ノ通デアリマス、ソコデ中ニ從價ニ殘ッテ居ルモノガアリマスガ、是ハ今日ノトコロデハ統計ノ材料ガ十分デナイ、ソレガタメニ適當ノ從量稅ヲ算出スルコトガ出來ナイト云フヤウナモノガ、多ク從價ニナッテ居リマス、ソレカラ又物ニ依ッテハ初メヨリ價格ノ非常ニ開キナルモノデ、到底從量ニハ出來ヌト云フヤウナモノガ、今日從價ニナッテ居リマス、ソコデ唯今ノ御問ノトコロハ、外國ト協約ニ係ル物品ノ從量稅ヲ如何ニスルカト云フ御問チヤナイカト思ヒマスガ、サウデゴザイマスカ

○村松恆一郎君 モウ一度申シマスガ、ツマリ百斤幾ラト定メデアリマシテモ、其物ノ物價ガ違ッテ來マストツマリ關稅ノ負擔ノ結果ガ違ッテ來ルダラウト思ヒマス、サウスルト他日ソレヲ改メナケレバナラヌ場合ガ起ルダラウ、ソレハ其時々ニ御改メニナルカ、或ハ豫メ何カ一定ノ取極メヲ置イテ改メルカ、ツマリ三年目ニ改メルトカ、五年目ニ改メルトカ云フノデスカ、日英條約ノコトハ例トシテ申シタノデス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 分リマシタ、從量稅ヲ定メタモノガ若シ物價ノ大ナル變動ガアリマシテ其儘ニ據置クコトガ出來ヌト云フトキニハ、無論再ビ法律案ノ改正ヲ致シマシテ適當ニ定メル、斯ウ云フ方法ヲ執ル考デゴザイマス

○山本悌二郎君 私ノ御尋申スコトハ大體ニ係ルコトデ、モウ少シ早ク御尋シタカッタノデアリマスガ、質問ノ機會ヲ得マセヌデ後ト迴シナリマシタヤウナ次第デアリマスガ、ソレハ段々此委員會等ニ於キマシテ質問ノ起ル點ハ、保護スベキモノニ對シテハ保護ガ十分デナイト云フヤウナ質問ガアリ、又輕減スベキモノニ對シテハ、十分輕減シテナイト云フヤウナ質問ガアリ、之ニ對シテ政府ノ方デハ、ソレハ自分共ノ方デハ適當ナリト認ムル程度ニ於テ極メタノデアルト云フヤウナ押問答デ、遂ニ要領ヲ得テ居ラナイノデ、私ノ御尋ネシタイノハ、此數百種ノ品目ニ付テ稅率ヲ極メニ付キマシテハ、何レ何等カ其大體ノ方針ト申シテ宜シイカ、標準ト申シテ宜シイカ、査定標準ト云フモノガナクテハナラヌコトデアラウト思フ、ソレニ承ッテ御調ニナッタコトデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、固ヨリ今日此產業狀態、貿易ノ狀態ガ非常ニ複雜シテ參リマシタトキニ於キマシテ、一方ニ偏シタトコロノ保護主義トカ、或ハ自由貿易ノ主義トカ、或ハ又關稅貿易主義トカ云フヤウナ、學說ニ拘泥シテ稅率ヲ極メルト云フコトニハ無論ナリマスモト思ヒマスガ、併ナガラ大體此ノ如キ品物ハ輕稅ヲ課スベキモノデアル、此ノ如キ品物ハ重稅ヲ課スベキモノデアル、又此ノ如キ品物ハ中庸ヲ得タル課稅ヲ爲スベキモノデアルト云フヤウナ方針ガ無クテハナラヌモノデアルト考ヘルノデス、何レ是ニ付テハ政府ノ方ニ其標準トナッタモノガアラウト思ヒマス、即チ此定率表ヲ立案サレル場合ニ於テ、採ラレマシタトコロノ標準ヲ一ツ御示シテ願ヒタイ、ソレカラ第二ハ、此ノ如キ標準方針ニ依ッテ御査定ニナッタモノトシマスレバ、更ニ其歩合ニ付テ伺ヒタイノデス、例ヘバ最高ノ稅率、即チ重稅ヲ課スベキモノハ凡ソ何割カラ何割ノ稅ヲ課シテ居ル、又輕稅ヲ課スベキモノト認メタモノニ對シテハ、何割カラ何割課シタ、中庸ノモノニ對シテハ凡ソ何位課シタ、即チ此割

合ヲ具體的ニ一ツ御話ヲ願ヒタイ、ソレカラ最後ニモウ一ツ御尋シタイノハ、重ネノデゴザイマスガ、見越輸入ノコトデゴザイマス、是ハ前回ニモドナタカラ御尋ガアリ、引續イテ今日高橋君其他カラモ御尋ガアッタヤウデアリマスガ、政府ノ御答ハ要スルニ今回ニ限ッテ如何トモ仕方ガナイト云フヤウナコトデアリマスガ、私ハ政府ガ此事ヲ餘リ重ク取ッテ居ラヌ如ク信ゼラル、ノヲ甚ダ遺憾トシマス、是ハ今回大分稅率ヲ引上ゲラレル品物がゴザイマスカラ、此見越輸入ト云フコトニ付テハ何カ豫メ備フルトコロガナケレバ、產業ニ對シテ非常ニ打撃ヲ與ヘル同時ニ、政府ニ於テモ豫メ豫定シテ居ッタトコロノ關稅上ノ收入モ、一年若クハ二年ノ間豫定通入ラヌト云フヤウナコトガ出來ハシマイカト思ヒマス、思ヒマスデハ必ズ出來ルノデス、ソレデ全然其方法ガナイト申シマスレバ、現ニ此三十九年ト記憶シマスガ、其當時ノ關稅改正ノトキニ於キマシテハ、或一部ノ品物ニ對シテ臨時消費稅ト云フモノヲ賦課シタコトモアリマス、又外國ノ例ヲ調ベテ見マスト、假執行ト云フヤウナ手段ヲ執ッテ居ル國モアルサウデゴザイマス、ソレカラ又場合ニ依ッテハ唯今高橋君モチヨット其意味ノ御話モゴザイマシタガ、ツマリ金融機關ノ操縦、尙之ヲ精シク申シマスレバ、輸入物品ノ代金支拂ノ爲替、ソレ等ノトコロニ手心ヲ例ヘバ正金銀行ノヤウナモノニ依ッテ手心ヲ加ヘルコトデ見越輸入ヲ全然防グコトガ出來ヌニシテモ、或程度迄ハ押ヘル方法ガ無イデハナイガ、ソレ等ノ點ニ付テハ方法ガ無イデハナイ、全部ニ對シテ相當ノ見越輸入ヲ防止スルコトガ出來ナイニシテモ、或程度迄ハ政府ノ考次第デ防ギ得ラレルコト、思フ、此邊ニ付テモウ一ツ政府ハ研究ヲ爲スデ、御調ナサタ御考ハアリマセヌカドウカト云フコトヲ御尋致シタイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 今回此改正ニ付キマシテハ大體ノ目安ハ立ッテ居リマス、例ヘバ現ニ內國ニ於テ產出致シテ居リマス物品ニ致シマシテモ、將來發達ノ見込ナキ物ト又見込アル物トノ區別ガ立ッテ居ルノデアリマス、又食料品ノ如キハ成ベク我人民生活上必要ナモノニ付テハ低稅ヲ課シタイ、同時ニ又其產業ノ保全、或ハ獎勵ト云フコトカラ、低稅ノミナラズ適當ノ程度ニ稅ヲ置カナケレバナラヌト云フコトモ考慮シタノデアリマス、又將來此工業ノ發達ヲ促スタメニ原料品ニ對シテハ、成ベク無稅已ヲ得ヌ場合ニ低稅ト云フ考モヤッタノデアリマス、大體ノ目安ハ素ヨリ立ッテ居リマスケレドモ、委シイコトハ各品ニ付テ研究シタ方が便宜デアラウト思ヒマスカラ、ドウゾ重要ノ物品ニ付テ御尋ヲ願フ方が便利ト思ヒマス、ソレカラ見越輸入ノコトハ再三申上ゲマシタ、御心配ハ御尤モデアリマス、政府ニ於テモ何トカ法ガアレバソレヲ講ジテ見タイト思ヒマシテ、數年研究シタ結果、如何トモ仕方ガナイト云フコトデアリマス、ソレデ今ノ爲換作用ト云フ御話モアリマシタガ、是ハ政府ハ商業ニ干涉スル非常ナ干涉ヲ加ヘナケレバ行ハレナイ、此爲換ノ如キハ我日本ノ銀行ノミデハアリマセヌ、外國銀行モ盛ニ振ッテ居リマス、サウ云フ方法ヲ講ジテモ實行スルコトハ到底成功ノ見込ハナカラウ、如何トモ方法ハ無イノデアリマス

○山本悌二郎君 此第一ノ御尋ニ對シテ大體ノ御話ハ承リマシタガ、此前ノ三十九年ノ改正ノ場合ニ、政府ハ如此標準ニ依ッテ査定ラシタノデアルト云フ、大體ノ査定方針ト云フヤウナモノヲ私ハ承ッタカノヤウニ記憶致シテ居ル、今回モ必ズヤサウ云フモノガアツテ御調ニナッタモノデアラウト思ヒマス、素ヨリ其率ノ高下、是ハ物其物ニ付テ一ツ

御話ヲ承ルコトニ致シマセウガ、只今外務大臣カラ御話ニナッタ方針ヲザット具體的ニシタモノガアリマスナラバ、ソレヲ御示シテ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ見越輸入ノコトヲ再三申上ゲマスガ、例ヘバ或品ノ如キ内地ニ於テ消費稅ヲ課シテ居ル品物ニ對シテハ、稅率ガ施行サレル迄ノ五箇月六箇月ノ間、同等ノ金額ヲ消費稅ノ附加稅トシテ賦課スルト云フコトヲ二十九年ノ稅率改正ノ時ニヤッタガ、今回モ或一部ノ品物ニ對シテハ行ハル、デアラウト思フ、ソレ等ノコトヲ今少シ研究ヲ願ヒタイノデアリマスガ、ソレ等ノ御考ハ如何デアリマスカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 大體ノ、所謂査定ノ方針ニ付キマシテハ唯今申上ゲタ通りデアリマス、大體ノ目安ハ立ッテ居リマス、ソレハ各品ニ付テ御尋ニナッタ方ガ便利デアリマセウ、目安ト云フテモ漠然ト云ッテハ何デスガ、押ヘ所ノナイヤウナモノデアリマス、ヤハリ重要ナモノニ付テ述ベタ方ガ兩方トモ分リ易イ、ソレカラ今ノ見越輸入ノコトハ深ク政府ハ詮議致シマシタガ、ドウモ方法ハゴザイマセス

○山本悌二郎君 此前ノヤウナコトハ出來マセウカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 此前モ砂糖ノ一種ダケデアリマス、是ハ頗ル混雜ナ話デアリマス、利害得失ドウナリマスカ、政府ニ於テハ得ル所、失フ所ヲ價ハナイト云フ考ノ結果、如何トモ仕方ガナイコトニ極メテ居リマス

○森田勇次郎君 此關稅ノ問題ハ外ノコト、違ッテ餘程經濟上重要ナ關係ノアルコトデアリマスカラ、當局者トイロノ議論ヲ聞ハスコトヨリモ、成ルベク委シク打解ケタ様々ノ話ヲ承ハル方ガ、此委員會ニ於テハ便利ナコトデアラウト思ヒマス、或場合ニハ公會ハ話シ惡イコトガアリマシタナラバ、秘密會ニシテ御打明ヲ願ヒタイコトガゴザイマス、第一ニ承リタイト思フノハ、度々同僚諸君カラ質問モ出テ居リマスガ、協定稅率ノコトデゴザイマス、大臣ノ御答デハ、歐羅巴ニ於テ僅カニ一箇國シカ協定稅率ヲ結バウト云フ處ハナイト云フ、御話其一二箇國ノコトヲ御明言ニナルコトハ、勿論ソレハ外國ニ對シテ様々御掛引モアルコトデアリマスカラ、ソレハ御尋ハ致シマセウガ、協定稅率ヲ結バウト云フノニハ、我國カラノ輸出品ノ勿論便宜ヲ圖ルト云フノデ、歐羅巴ノ諸國デ一二箇國ト云ヘバ日本カラ輸出品ノ最モ多イ國デ、凡ソ分リマスガ、輸出品ノ超過シテ居ル國ト、又我國ノ輸出ヲ保護スルタメニ規定稅率ヲ結ブ必要ガアルデアラウガ、ソレナレバ凡ソドウ云フ、重要ナル日本ノ輸出品ヲ保護スル、又向フカラ輸入スル品物ハドウ云フ類ノ輸入品デ、其間ニ相互的協定ヲシヤウト云フ御考デアルカ、若シ公會御話ガ出來ナケレバ秘密會ニシテモ宜シウゴザイマスカラ、御說明ヲ願ヒタイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 仰セノ通り歐米各國ノ中デ協定ヲナシ得ルモノハ一二止ッテ居リマス、其國名ハ明言シナイ方ガ宜カラウト思ヒス、此相互的協定ヲ致シマスノハ、其對手國ニ日本カラ輸入シマス重要ノ商品ニ對シテ吾ニ利益ヲ占メルト云フ考デヤデゴザイマス、又對手國デモ同様デアツ、其國カラ日本ニ輸入シマス重要ノ物品ニ付テ利益ヲ得タイ考デアルノデ、即チ是ハ利益ノ交換デアリマス、而シテ其利益ノ交換ニ供スル日本ノ物品ハ何カト云フト、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ、輕卒ニハ出來マセウ、若シ其先方ガ希望致シマス物品ノ稅率ヲ下ゲルト云フコトハ、其結果ハドウナルカ、日本ノ產業ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フト、又稅率ヲ下ゲルト同時

ニ我輸出ニ對シテ此稅率ヲ下ゲルト云フトデアリマスガ、其利害得失ハドウナルカ、深ク考ヘナケレバナラヌ問題デゴザイマス、又若シ或國ガ協定ヲ申込場合ニハ、日本カラ如何ナル品物ヲ利益交換ニ供スルカト云フトハ、唯今申上ゲタヤウナコトデ、深ク研究ヲ要シマスノデ、略々見當ハ付ケテ居リマスガ、未ダ確定ハ致シテ居リマセウ、又其品物ヲ如何ナル品物ヲ利益交換ニ供スルカト云フトハ、是亦談判ノ都合上此處デ、明言シテ置ク譯ニハ參リマセウ、左様御承知ヲ願ヒマス

○村上先君 私モ質問ヲ致シマス、第一ニ植民地及屬領地ニ對シマスル條約ノコトニ付テ伺ヒマスガ、現行條約ヲ見マスルト、歐米各國ハ總テ植民地、屬領地ニ對シテハ或ハ適用シ、或ハ全ク適用セヌト云フヤウナ處ガアル、日本ノ現行條約ニハ臺灣ナドハ這入ッテ居リマセウ、ソレデハ日英條約第十九條ノ但書ニ於ケルヤウナ規定ガナイ、ソレデ今度改正スル條約ニモヤハリ臺灣、樺太ト云フヤウナモノハ別段ノ條約ヲ設ケルト云フ御趣意デアリマスカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 今度ノ國定稅率法ハ、是ガ若シ成立致シマスレバ我領土全體ニ對シテ之ヲ實行致スト云フ考デゴザイマス、臺灣、樺太等ニ對シテ區別ハ設ケヌ積リデアリマス、又各國ノ植民地ト申シマスルガ、各國ニ於テモ成ルベク新條約ノ効力ヲ——本國ハ勿論、植民地等モ廣ク及ボスコトニ協定ヲ致シタイト考デゴザイマス、其中英國ノ如キハ植民地ニ種類ガアリマシテ、所謂自治制ノ植民地ト申シマスルト、關稅ノコトニ付テハ殆ド獨立權ヲ有シテ居リマスカラ、此自治權ヲ有シテ居ル植民地ニ對シテハ、英國政府ガ一定ノ關稅條約ヲ爲スト云フトハ出來ヌコトニナッテ居リマスカラ、是ハ英國國ト折合ガ付キマシタ上デ、自治權ヲ有シテ居ル各州ト更ニ交渉ヲ致スヨリ外ハアリマセウ、併ナガラ新條約ハ一般ニ適用スルヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○村上先君 最惠國約款ノコトニ付テ、前回山本君ノ質問ニ對シテノ御答辯ニ依ルト、最惠國約款ハ總テ無條件主義ヲ採ルト云フヤウニ聽取リマシタ、日本ト米國トノ現行條約ニ於テハ、有條件條約ガ出來テ居ル是等モヤハリ今度ノ改正デ總テ無條件條約ニナル御都合デアリマスカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 此最惠國ノコトニ付テハ、成程前回申上ゲテ置キマシタ無條件主義ヲ採ルトニ決定致シテ居リマス、是ガ原則デアリマス、唯今仰セノ通り現行條約ニ於テ米國ダケハ條件附ノ最惠國條款トナッテ居リマス、米國ニ限リマシテハ、今回モ同様條件附ノ最惠國待遇ト云フトニナルデアリマシテ、御承知ノ通り米國ハ殆ド立國ノ當初ヨリ條件付ノ最惠國待遇ト云フ主義ヲ執ッテ居リマシテ、今ニ變更ハ致シマセウ、故ニ我帝國ニ於テモ、米國ニ限リマシテハ此條件付ノ最惠國待遇ト云フトニナッテ居リマスルシ、又米國ト歐洲列國トノ間ノ條約ニ於キマシテモ、同ジク同様ノ最惠國條款ヲ訂結シテ居ルノデゴザイマス

○村上先君 前回ノ御說明ニ據ルト、殆ド協定ヲ解イテ國定稅率ヲ適用スルト云フトデアゴザイマス、所ガ中ニハヤハリ或少部分ノ協定稅率ガアルヤウニ承ハリマス、所デ現在ノ條約デヤハリ雙務的協定ノ國ガアリマスガ、實際ニ於テハ殆ドヤハリ片務デアル、例ヘバ埃國トノ條約ハ殆ド互惠雙務ニ外形ハ出來テ居リマスガ、内狀ハ殆ドヤハリ片務デアリマス、此度訂結ニナル互惠雙務的協定ハヤハリ外形ダケガ互惠雙務的デ、實質ハ殆ド片務同然ニナルヤウナコトハアルマイカ、此點ニ付イテ伺ヒタイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 今回ノ條約改正ニ於テ、若シ協定率ヲ約スル場合ニハ其相互的ト云フ主義ガ形式ニ流レテ、其實ガ舉ラナイト云フ憂ハナキカト云フ御尋デゴザイマスガ、斷シテシヤナラヌコトデゴザイマス、最前カラ申上ゲマス通り、今回相互的協定ヲ致シマス以上ハ實際ノ利害ノ交換アリマスルカラ、形式ハ免モ角事實ニ於テ利益ノ交換ノ實ガ舉ラヌ以上ハ協定ヲ致サヌ積デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○村上先君 協定ニ屬スル税目ニ付テ、從價稅ヲ從量稅ニ換算スルコトハ、是ハ唯今ノ條約ニ據ルト、議定書ノ日附ヨリ六箇月以前ノ平均ニ依テ從量稅ニ換算スル、然ルニ日英條約ニ三年毎ニ之ヲ變更スルト云フコトニナッテ居ルケレドモ、他ノ二國ガ同意セヌガタメニ實行ガ出來テ居リマセヌ、今般ノ條約改正デ愈々協定ヲ致シマスル税目ニ付テモ、ヤハリ中ニハ從價稅ヲ從量稅ニ換算スルモノガアラウ、サウ云フモノニ對シマシテハ、ヤハリ現行ノ如ク議定書日附ヨリ六箇月以前ノ平均デ以テ換算シマスカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 先刻モ申上ゲマス通り、如何ナル國ト協定ヲ爲スカ、又如何ナル物品ノ協定ヲ爲スカト云フコトモマダ、確然極マツ譯デモゴザイマセヌヤウナ有様デゴザイマスカラ、若シ協定ヲスル場合ニハ、其稅率ノ基礎モ從量ニシテ置クカ、或ハ現行條約ノ如ク從價ニシテ置クカト云フコトモ、其時ニ深ク攻究センケレバナラヌ問題ト考ヘテ居リマス、又大體ノコトモ極メデ居リマセヌ

○村上光君 若シ從價稅ニシタナラバ如何デス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 若シ從價ニシタナラバ、現行條約ノ如ク一定ノ年限ニ改正スルト云フコトニシタガ宜シイカ、或ハサウセヌ方ガ宜シイカ、是モ攻究スベキ問題ト考ヘテ居リマス

○委員長(野田卯太郎君) 時間ガ來マシタカラ食事ヲシマス、一時カラ始メマス

午後零時五分休憩

午後一時四十二分開議

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハ會ヲ開キマス、午前ノ續、大體ノ質問デス

○早速整爾君 私人前回ニ於テ御尋シマシタコトニ付テ、マダ御答ヲ得ナイノガ一箇條アル、ソレハ此關稅ノ定率ヲ定メルニ當ッテ、政府ハ果シテ此從量稅主義ヲ本位トシタノデアルカ、或ハ從價稅主義ヲ本位トシタノデアルカ、是ハ此關稅定率法ノ改正案ヲ議スルニ付キマシテ、聊疑ヲ質シテ置カネレバナラヌ必要ガアルカラ御尋シタノデス、然ルニ御答ヲ得ナイカラ改メテ今日御尋ヲシタイ、是ハ分リ切ツタヤウナ話デアリマスガ、詳細ニ此當局者ガ有スル意見ヲ伺ッテ置キタイ、從量稅主義ヲ本位トセラレタカ、從價稅主義ヲ本位トセラレタカト云フ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ外務省ノ御方ハ御出デニナッテ居リマスカ

○委員長(野田卯太郎君) マダ見エマセヌ、後デ宜イデセウ、農商務省、大藏省ニ關スル事ヲ——ドレモ同ジコトデス

○早速整爾君 私人多少外務省ノ御方ニ御尋シタイ事ガアリマスガ、ソレデハ其事項ハ後廻シニシテモ宜シウゴザイマス、大藏省、農商務省ノ御方デ、御答ノ出來ル分ヲ

先キニ致シマス、此穀物ノ輸入稅ニ付キマシテハ、此間カラ御質問ガイロノ出デ居リマス、デ私ハ更ニ當局者ニ向ッテ伺ッテ置キタイノハ、一方ニハ穀物ノ輸入稅ヲ増率ヲシナイカト云フ御尋ガゴザイマスルガ、私ハ丁度之ニ反對ニ、當局者ハ穀物ノ輸入稅ヲ全廢シナイカト云フ御尋デアリマス、意見ハ別ニ述ベマセヌ、一例ヲ舉ゲテ此間ガ二段ニ分レマスガ、輸入米ノ關稅ノ如キハ政府ハ果シテ之ヲ賦課スルニ收入主義ニ據ッテモノデアルカ、或ハ保護主義ニ據ッテモノデアルカト云フコトヲ御尋シタイ、元ト米ニ對スル輸入稅ヲ課スルコトヲ始メタ際、即チ非常特別稅ニ依ッテ此課稅ヲ設ケラレタ際ハ、確カニ收入主義ニ依ッテ成立ッタモノト私ハ思ウテ居リマスガ……

○山本悌二郎君 質問ガ細目ニ互ルヤウデス

○委員長(野田卯太郎君) 宜イデセウ

○早速整爾君 私人一例トシテ言フノデアルカラ御許ヲ願ヒタイ——ソレハ收入主義ニ據ッテモノデアルカ、或ハ保護主義ニ據ッテ此稅率ヲ定メタモノデアルカト云フコトヲ御尋シタイ、ソレカラ序ニ御尋シテ置キマセウ、此間私が御尋ヲシタ際ニ、清國並ニ韓國ニ對スル此關稅ノ規定、是ハ今此場合ニハ定メナイ、無論特別ニ其便宜ノ方法ヲ設ケル積リデアルト云フ御答デアッタト記憶シテ居リマスガ、ソレハ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ規定スルト云フ御見込デアアルカ、……

○委員長(野田卯太郎君) 其事ハ先刻……

○早速整爾君 アレトハ違ヒマス、アレハ別ニ外務大臣ニ御尋シタイカラソレハ後廻シニ致シマス、是ハ規定デアリマス、特別ニ定メルト云フ規定デアリマス、清國ト韓國ト——譬ヘテ申シマスルト、此關稅定率法ノ四條——此四條ハ定メシ清國ト韓國ト對スル規定デアラウト思フ、之ニ據ッテ見マスルト、協定ノ限度ヲ超ユザル便宜アリマスカラ、清國ト韓國ト對シテハヤハリ列國トノ條約ニ均霑セシムルト云フ外ニハ、ソレ以上便宜ナ方法ハナイヤウニ思ハレマスガ、進ンデ清國並ニ韓國ト對スル此關稅ノ規定ハ、尙別ニ便宜ナ規定ヲ設ケラレルト云フ御考デアアルカ、果シテサウデアレバ其點ヲ伺ヒタイ、唯定率法ノ第四條ノ規定ガソレデアルト云フ御話シデアレバ、左様ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ此關稅ノ大體ノ方針デアリマスガ、誠ニ今日ノ關稅ノ規定ト云フモノハ、イロノ區々ニ分レテ隨分煩雜ナ手續ヲ要スルト云フ制度ニナッテ居ル、此關稅ノ制度ハアルガ、煩雜デアアルガ故ニ貿易上關稅ノ利益ヲ享有スルコトガ出來ヌト云フ憾ガアリマス、政府ハ此關稅ト云フ、即チ貿易上獎勵スル所以ノ誠ニ重要ノ問題タル關稅ニ關シテ、將來此制度ヲ改メ手續ヲ改メテ、サウシテ此關稅ノ利益ヲ享有セシムルト云フコトニ付テ御考案ガゴザイマスルカ、又現在ノ儘ニ一任シテ斯様ナ不統一斯様ナ複雜デアアル制度ノ下ニ、是マデ通リデ御満足ニナルト云フ御考デアアルカ、是ハハッキリ一ツ伺ッテ置キタイノデアリマス、場合ニ依ッテハ此關稅ノコトハ別ニ私ハ御尋シタイノデアリマスガ、此點モ伺ッテ置キタイ、ソレカラ本邦カラ海外ノ諸國ニ輸出シマスル物品——此輸出品ノ海外ニ於ケル待遇ノ模様ヲ大體伺ヒタイ、一口ニ申シマスレバ、本邦ノ輸出品ノ所謂國際上ノ地位デアリマスガ、ソレヲ伺ッテ置キタイ、即チ稅率ヲ研究シマスルニ付キマシテ重ナル輸出品ノ——我國ノ輸出品ガ海外ニ於テ如何様ニ待遇セラレテ居ルカト云フコトヲ、概括的デ宜シウゴザイマス、御答ヲ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ外務省ノコト

デスガ……

○委員長(野田卯太郎君) 外務省——見エテ居ル

○早速整爾君 ツレデハ御尋ネ致シマセウ、午前ノ會デ高橋君ノ韓國ニ對スル關稅ノ關係ニ付テノ質問ニ對シマシテ御答ガ、特別ニ制度ヲ設ケルコトハ出來ナイ、ツレハ條約上ノ關係ニ依ッテ最惠國條款ニ依ッテ、他ノ諸國ヲ均霑セシメナレバナラヌト云フコトニ相成ルカラシテ、特別ニ韓國ノ約束ヲスルコト云フ風ニ出來ナイト云フヤウニ私共ハ記憶シテ居リマス、ソコガチョット分リマセヌ、デ何故ニ韓國ノ特別ノ約束ヲスルコトガ出來ナイカト云フコトニ付テ、今少シ詳細ニ承リタイノハ、最惠國條款ニ依ッテ、列國ニ均霑ヲセシメナレバナラヌト云フ御説ハ、御尤モデゴザイマスルガ、其最惠國條款ノ羈絆ヲ受ケルコトナクシテ、羈束ヲ受ケルコトナクシテ、國際法上差支ナイ範圍ニ於テ特別ノ制度ヲ設ケルコトガ出來ハシナイカト、是ハ私ノ意見デアリマスガ、例ヘバ保護國タル韓國ト、言葉ハドウ云ツタラ宜シウゴザイマスルカ、所謂一種ノ關稅同盟ヲ締結スルコト云フコトニナレバ少シモ國際公法上最惠國條款ニ羈束セラレル虞ガナイト云フコトハ、勿論外務大臣モ之ヲ御認メニナッテ居ルダラウト思フデアリマス、是ハ一ノ例デアリマスガ、左様ナル關稅同盟ト云フ、言葉ハ何レニ變リマシテモ宜シウゴザイマスガ、其制度ノ下ニ、韓國ハ特別ノ關稅關係ヲ結ブト云フコトハ出來得ルコトデアアルマイカ、ツレモ出來ナイ、其他ニモ特別ニ、アノ保護國タル韓國トノ間デモ、特別ニ關稅ノ約束ヲ結ブコトガ出來ナイト云フ御意見デアアルカ、午前ノ御説明デハ少シ疑ヲ抱キマスカラシテ、此點ヲ確メテ置キタイト思フデアリマス、序ニ今一ツハ此協定ヲスル國ハ僅ニ一二ノ國ニ止マルト言フ、私ハ左様ニ考ヘタノデアリマスル、一二ノ國ニ止マルカ、二三ノ國ニ止マルカ、併シ他ノ各國デモ貿易ノ大部分ヲ占メテ居ルト云フコトニナレバ、國ハ僅デモ其國ガ貿易關係ニ於テ大部分ヲ占メテ居ルト云フコトニナレバ、關稅ノ中デモ稅ハ少ナクモ大部分ヲ占メテ居ルト云フコトニ歸著致スノデアリマス、外務大臣ノ一二ノ國ニ止マルト言ハレタノハ、吾々ハ之ヲ推測スルコトガ出來ルノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フコトヲ御尋シテ見タイノデアアル、初メカラ豫メ此協定ヲ爲スベキ國ヲ一二ト云フヤウニ御極メニナッテ居ルヤウニ伺ツタノデアリマスガ、此協定ト云フコトハ私ハ無論或場合ニハ必要デアルト信ジテ居ル者デゴザイマス、我貿易關係、即チ輸入ノ獎勵發展ヲ計ルガタメニ、國ノ利益ノタメニ、此協定ヲスルト云フ必要ハ僅ニ二三箇國ノミデハナイ、其他ニ於テモ其必要ヲ感ズル關係ガアリハシナイカト思フデアリマス、是ハ或ハ必要ニ應ジテ臨機ニ之ヲ定メルト云フ御考デアアルカ、既ニ僅ニ一二ノ國ニ定マッテ居ッテ、其他ニハ決シテナイト云フ風ニ御決定ニナッテ居ルノデアアルカ、其國ノ御説明ガナイノデ、私モ國ヲ舉ゲテ御尋スル譯ニモ行キマセヌケレドモ、是モ概括的ニ外務省ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、先ヅ是デケニ付テ御答ヲ得タイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 協定國ニ關スル分カラ御答致シマス、今度條約改正ヲ致シマスル十四箇國ノ中デ協定ヲ爲シ得ル國ハ僅ニ一二ノ國デアルト云フコトヲ申上ゲマシタ、ツレハ成程日本ト外國トノ貿易關係カラ申シマス、協定ヲスル方ガ日本ニ利益ガアル國モアリマスル、ツレハ相違ゴザイマセヌ、併ナガラ此十四箇國ノ中デ協定ヲ爲シ得ル國ハ、僅ニ一二止マルト申シマスノハ、御承知ノ如ク自由貿易ノ國デゴ

ザイマスルト、協定ノ餘地ガナイノデ、即チ英國或ハ白耳義ノ如キ、自由貿易ノ政策ヲ執ッテ居リマスカラ、協定ノ餘地ガナイト云フコトハモウ明カデアアル、又ハ米國ノ如キハ關稅法ニ於テ協定ヲナス權能ヲ政府ニ與ヘテ居リマセヌカラ、是モ協定ノ餘地ハナイノデゴザイマス、其他ノ國ニ於キマシテモ協定ヲ爲シ得ルノハ、僅ニ一二デアアルハ、協定ヲ爲スノガ日本ノ利益デアルト信ズルノガ一二ノ國ニ止マルカ、其他ノ國ニ於テハ協定ヲ爲ス必要モナシ、又協定ヲ爲スノハ吾々ニ利益アラウト考ヘルノモアルノデ、協定ヲ爲シテ吾々ニ利益アリト認メタノガ一二止マルト云フ趣意デゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○武藤金吉君 議事進行ニ付テ私ハ少シ述べタイ

○委員長(野田卯太郎君) 武藤君

○武藤金吉君 今朝來各委員カラ政府ニ向ッテ質問ヲ致シマスコトハ、質問スル方ハナカノ骨ヲ折ッテ多クノ言葉ヲ費シテ居リマスルガ、答ヘル方ハ極メテ少ク答ヘテ、中ニハ肝腎ノコトガ要領ヲ得ナイコトガ譯山アルノデアリマス、是等ハ此大體ノ質問ヲ致シマスニ付テ、甚ダ吾々委員ハ遺憾ニ感ズルノデアアル、遺憾ニ感ズルノミナラス、分ラヌコトガアリマス、願クハ政府當局者モ殊ニ外務大臣ニ於キマシテハ、若シ是ガ公ニ言ハレヌコトデアリマシタナレバ、秘密會ニ致シテモ吾々ニ徹底スル御説明ヲ得タイ、ドウカ秘密ニナラヌデモ十分ニ御答ガ出來ルナラバ、十分ニ御答ヲシテ戴キタイト思フデアリマス

○委員長(野田卯太郎君) 秘密會ヲ請求スルコト云フノデスカ

○武藤金吉君 秘密會デナクモ十分ニ御説明ガ出來ルナラバツレデ宜シイノデス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 諸君ノ御質問ニ對シテハ努メテ明瞭ニ政府ノ趣旨ノアルトコロヲ説明シテ居ル積リデゴザイマスルカラ、御了解ニナラヌ點ガアレバ幾度デモ御質問ニナルヤウニ願ッテ置キマス、又秘密會ト云フコトハ、此關稅問題ニ付テハ別ニ秘密ハ無カラウト考ヘマスカラ、私カラ秘密會ヲ請求致ス必要ハ感ジテ居リマセヌ

○武藤金吉君 秘密會デナクテモ宜シイデアリマスルケレドモ、今朝ノ山本君カラ御尋ノ條項、高橋君カラ尋ネマシタ韓國ニ對スル事、石橋君カラ尋ネマシタ點、唯今又早速君カラ御尋ニナリマシタ點ハ、ドウモ要領ヲ得テ居ナイノデス、此點ニ付キマシテハ、モウ少シ國ヲ舉ゲ、總テノコトヲ舉ゲテ詳細ニ御答辯ヲ願ヒタイ、尙私モ差支ナレバ御尋ヲ致シタイガ、先キニ質問致シタモノニマダ御答ガゴザイマセヌカラ差支テ居ルノデス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 早速君ノ韓國ノコト——是モ今朝申上ゲテ置キマシタガ、現行條約ノ下ニ於テハ韓國ノ特別ノ協定ヲ爲スコトハ出來ヌデス、故ニ現行條約ノ改正ニ於キマシテ、差當リ韓國カラ日本ニ輸入致シマスル物品ニ付テ、或ハツレニ對シテ減稅又ハ免稅ヲ行フ方ガ日韓雙方ノ利益デアルト云フコトヲ認メマシタ場合ニハ、其減稅又ハ免稅ヲ最惠待遇ノ範圍外ニ置キタイト云フ趣意デ、今回條約改正ノコトヲ交渉致ス考デアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第一ノ早速君ノ御質問ニ、從量稅ヲ主トスルカ、從價稅ヲ主トスルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ改正ノ案ヲ御一覽ナサレバ御分リニナリマス通り、無論從量稅ヲ主トシテ居リマス而シテ交ユルニ、從價稅ト云フ風ニヤッテ居リマス、其從價稅ヲ取りマシタコトハ、午前ニ於テ一言致シマシタ通り、今日ノトコロデハ、統

計ノ材料其他カラ適當ナル從量稅ヲ算出スルコトノ不便ナルモノハ從價ニ止メテ置クト云フ趣意アリマス、主トスルコトハ從量稅ヲ主トシテ居リマス、尙前同ニ第三條ニ付テノ御尋アリマシタガ、第三條ハ是ハ決シテ從量ヲ主トスルコト云フ趣意ヲ以テ規定シタノデハナイノデアリマス、ツマリ今日從量トシテ適當ナルモノハ法律ニ從價デ極メル、今日從量デ極メルコトノ出來ナイモノハ從價ニシテ置イテ、其モノハ相當ナル時期ニ於テ從量稅トスルノガ便利トスルコトニ於テハ、之ヲ從量ニ直スコトガ出來ルト云フ風ノ規定ヲ設ケタノデアリマシテ、三條ハ決シテ從價稅ヲ主トスル主意カラ規定致シタモノデナイト御承知ヲ願ヒマス、第二ニ米ノコトデアリマス、米ノ關稅ハ收入主義デアルカ、保護主義デアルカト云フ御問デアリマスガ、此米ノ輸入稅ノコトモ前同外務大臣ヨリ御説明ガアリマシタ如ク、固ヨリ關稅案大體ガ收入ニ重キヲ措クト云フコトハ申シマスデモナイ、四千萬乃至五千萬ノ財源ニテ居ル關稅デアリマスカラ、收入ノ點ハ大ニ注意ヲ拂ッテ居ルト云フコトハ申シマスデモナイ、併ナガラ又一方ニ於テハ或物ニ付テハ内地ノ生産ノ方ノ點モ考ヘテ居リマス、米ニ付テハ是亦單ニ百斤六十四錢ノ收入ヲ得レバ足レリトスルノデアリマセヌヤハリ農業ノ側モ考ヘテ、此位ノ程度ニ定メレバ相當デアルト云フコトカ、此稅率ヲ定メテ次第デアリマス、韓國、清國云々ノコトハ、韓國ノコトニ關シテハ既ニ唯今御答ガアツタノデアリマスカラ申上ゲヌデモ宜カラウト思ヒマス、戻稅ノ方針ハ現行ノ手續ヲモウ一層簡便ニスル考ハナイカト云フ御尋デアリマシタガ、現行戻稅ヲ行ヒマシタ主意ハ、主トシテ外國カラ輸入致シマシタ原料ヲ用井テ、物品ヲ製造シテ外國ニ輸出スルモノニ、戻稅ヲスルト云フ主意ヲ取ッテ居リマス、尙第九條、是モ唯今ノ主意ヲ取ッテ居リマス、肥料ヲ製造シタルトキハ輸入稅ヲ拂ヒ戻稅ト云フ特典ガアリマスガ、大體ハ輸出スルモノニ對シテ戻稅主義ヲ取ッテ居リマス、其手續ハ無論成ベク簡便ニ致シ、成ルベク速カニ戻稅ノ出來ル主意ヲ取ッテ居リマス、其主意ハ今日デモ變ヘテ居リマセヌ、尙今回ノ改正案ニ付テ一例ヲ舉ゲマスト外國カラ輸入致シマス阿列布油ヲ元ニシテ鰯ノ罐詰ヲ作り、サウシテ外國ニ出ストキハ其油ニ對シテ稅ヲ戻スト云フコトヲヤッテ居ル、所ガ段々研究致シマシタ末、輸出油ノ罐詰ニ對シ輸入稅ヲ返スト云フコトハ面倒ナコトデアアル、寧ロ戻稅ト云フ方法ヲ廢シテ、是等ノ品物ノ如キハ稅ヲズツト輕クスルガ宜シイト云フ主意ヲ以テ、改正案ヲ御覽ニナリマスト分リマスガ、現今一割五分ノ關稅デアルモノヲ五分ニ減シヤウ、其代リ戻稅ヲ止メヤウト云フ考ヲ立テ、居リマス、是等モ政府ハ戻稅ノ煩雜ナル手數ヲ成ルベク減ジタイ精神カラ改正ヲ加ヘタ一例デアリマス、ソレカラ日本ノ輸出品ハ外國ニ於テ如何ナル待遇ヲ受ケテ居ルカト云フ御問ハ、是ハ日本ノ品物ニ對シ、諸外國ガ課稅シテ居リマス稅率ヲ御覽ニ入レタナラバ、ソレヲ御了解ト思ヒマスカラ、各種ノ品物ガアリマスガ重ナル物ハ書面ヲ以テ御覽ニ入レルコトニ致シマセウ

○早速整爾君 外務大臣ノ御答ハドウモ能ク私ニ分リマセヌ、午前ニ高橋君ニ對スル御答モ承リマシタガ、私ハ解スルコトガ出來ナイ、此韓國ト特別ノ約束ヲスルト云フコトハ出來ナイト云フコトハ御斷言ニナッテ居ルノデアリマスガ、前ニ私が申シマシタ如ク、所謂關稅聯合ト云フコトハ別ニ條約上ノ羈束ヲ受クル筈ハナイト信ズルノデアル、ソレモ出來ナイト仰シヤルナラバ出來ナイト御答ガ願ヒタイ、ソレカラ特別ノ約束ヲスルト云フコトハドウ云フ風デアリマスガ、唯減稅スルニ便利ナモノハ時々臨機ニ約束シテサウシテ便宜ニ依ッ

テ之ヲ處シテ行クト云フ御考デアルカ、其一ツノ御見込ヲ伺ヒタイ、竝清國ニ對シテノコトデアリマスガ、清國ニ對シテモ同ジ御考デアルカ、清國ト云フモノハドウ云フ風ニ關稅ノ關係ヲ結ンデ行クト云フ御考デアルカ、ソレハ韓國ニ對スルノ同ジ考デアルト云フ御說デアルナラバソレデ宜シウゴザイマスガ、清韓ニ對シテノ利益ノ方法ハドウ云フ風ニヤッテ行クカト云フ御考ヲ承リタイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 清國ニ對シマシテハ、是ハ帝國ト清國トノ間ノ條約デ極ッテ居リマシテ、其條約通りヤッテ行ク積リデゴザイマシテ、清國トノ條約ハ今般ノ改正條約ノ中ニハ入ラヌノデアリマス、又韓國ノコトデゴザイマスガ、御承知ノ通り現在ニ於キマシテハ、韓國ト列國トノ間ノ條約ガアリマシテ、ソレニ依ッテ關稅定率ガ極ッテ居リマス、又一方デハ帝國ト列國トノ間ノ條約ガアツテ、是モ條約ニ依ッテ、或國トハ關稅ガ極ッテ居ル故ニ、現行ノ條約ガ存在シテ居ル以上ハ、韓國ト日本ノ間ニ特殊ノ關稅關係ヲ設クルト云フコトハ出來ヌノデアリマスノハ、ソレハ即チ最惠國條款ノ存シテ居ル結果デゴザイマス、併ナガラ將來經濟上ニ於テ日韓共通ノ利益ヲ計ルノ必要上カラ、或ハ韓國カラ日本ヘ參リマスル輸入品ニ對シテ稅ヲ輕減スルカ、或ハ免除スル必要ガ起ルカモ知レマセヌカラ、若シ斯カル必要ガ起ツタ場合ニハ、列國ヲシテ最惠國待遇ヲ受ケサセヌコトニシテ置キタイ、即チ今度ノ改正ニ於キマシテハ、其趣意ヲ定メテ置キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、今ノ所デハ何分ニモ最惠待遇ト云フコトニ縛ラレテ居リマシテ、特ニ韓國ノミニ對シテ特點ヲ與ヘルト云フコトハ出來ヌコトニナッテ居リマスカラ、今度ノ改正ニ於キマシテハ、斯カル特點ヲ與ヘルノガ日韓兩國ノ爲ニ利益デアルカ、又日本ノ爲ニ利益デアルト云フ場合ニハ、之ヲ與ヘル餘地ヲ存シテ置キヤウニ此改正ヲシタイト云フ考デゴザイマスガ、又韓國ト列國トノ間ニ極ッテ居マサル關稅ノコトハ是ハ今回ノ條約改正トハ別問題ニ致シマシテ、將來適當ノ時期ニ適當ノ方法ヲ講ジタイ考デ政府ハ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○早速整爾君 序ニ御尋ネシテ置キタイノデスガ、ツマリ此韓國ニ對シテハ、韓國ト列國トノ間ニ條約ガアル、日本ト韓國トノ間ニ條約ガ存シテ居ルカラ、其條約ノ有効期間内ハ關稅ノコトハ如何様ナコトモ出來ヌト云フ意見デアリマスガ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) サウデゴザイマス

○早速整爾君 出來ナイ、サウスルト、唯今第二ノ御話ノ或場合ニ於テ、或ハ此輸入稅ヲ免ジタラ宜カラウト云フ風ノ必要ヲ感ジタ場合デモ、ヤハリ出來ヌト云フコトニナリマスガ、日本ト韓國トノ間ニ……

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 條約ノ改正ヲ待ッテデス

○早速整爾君 ソレハ分ッテ居リマス、條約ノ改正ヲスル迄ハ出來ナイト云フ御考デゴザイマスガ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) サウデゴザイマス

○早速整爾君 今回條約ヲ改正シテ、其便宜ヲ得テ後ニ何カ施スト云フ御意見デアリマスガ、私ハ先刻清國ト云フコトヲ申シマシタガ、關東州ニ對スル關稅ノ關係ハドウナリマスガ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 關東州ニ對シテモ別ニ違ヒハゴザイマセヌ、國定

稅率ヲ其儘提供スルノデアリマス

○委員長(野田卯太郎君) 千田君質問ガアリマスカ

○武藤金吉君 我ハ外務大臣ニチヨット御尋致シマスガ、此現行ノ條約ニ依リマシテ戰時禁賣品ハ條約ノ通り、日露ノ戰爭等ニ於キマシテハ條約ノ通りニ中立國ニナッタ國ハ行ツテ居リマスカ、又露國、又我國等ハ此戰時禁賣品ノ賣買ニ付キマシテドウ云フ成績ヲ表ハシテ居リマスカ、又改正ノ條約ハ此點ニ付キマシテハドウ云フ方針ヲ以テ條約ヲ改正セラル、御見込デアリマスカ、同ツデ置キタイ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 戰時禁制品ト、モウ一ツハ何デス

○武藤金吉君 ツレダケデス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 是ハ今回ノ條約ニハ關係ハナイノデス

○武藤金吉君 總テ關係ナイノデスカ

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 戰時禁制ノコトハ所謂公法デ、戰時ニ於テ極メルコトデアリマシテ、若シ或外國ト外國ト間ニ戰爭ガ起ツテ、日本ガ中立ト云フコトデアリマスレバ、日本政府ガ是ハ公法ノ原則デアルト認メテ居ルトコロニ依ツテ、其中立ヲ維持スル法令ヲ出シマスカラ、其法令ニ依ツテ極マルノデアリマス

○武藤金吉君 ツレハ分ツテ居リマス、例ヘバ輸入ノ穀物ニ致シマシテモ、其他食料品ニシマシテモ、日露戰爭ニ於キマシテモ、我國ニ於テモ露國ニ於テモ、中立國カラ此食料品並ニ石炭其他ノ米穀、穀類等モ禁ジラレテ居ルモノガ輸入ト致シマシタル場合ニ於テ、此貿易ニ多大ノ影響ヲ及ボスノデアリマス、例ヘバ日露ノ戰役ニ於キマシテ、我國ハ勿論條約ニ依ツテ食料品ヲ外國カラ輸入ハ出來ナイ筈デア、又出來ナイノデアリマセウ、併ナカラ事實ニ於キマシテ、戰爭ノ後ニ於テ外國カラ輸入サレマシタルコロノ食料品ガ、多大ニ海陸軍ノ所カラ拂下ニナツタニ付キマシテモ分ルヤウナ譯デアリマシテ、是等ノモノハ此稅率ニ付キマシテハ、將來斯様ノ此國ト國ト間ニ干戈ニ見ユルコトハゴザイマスマイガ、若シアルト致シマスレバ經濟上ニ多大ノ影響ヲ及ボスモノデアリマスルガ、是等ハ此關稅定率ヲ改メル上ニ於キマシテハ、當局ハ敢テ意ニ介サナイデ、ヤハリ國ト國トノ別ノ方法デア、御見込デアリマスカ、尙重ネテ伺ヒマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) サウデゴザイマス、是ハ今回ノ關稅改正ニハ少シモ關係ナイ問題ト考ヘマシテ、是ハ戰爭ノ時ニ臨時ニ極メルヨリ外致方ナイノデアリマス

○千田軍之助君 私ハ討論ノ場合ニ讓ツテ置カウト思ヒマシタガ、國家經濟ニ重大ナル關係ヲ持チマスカラ、外務大臣ナリ、大藏ノ政府委員ノ見ルトコロヲ一ツ承リタイト思ヒマスガ、此米價デスナ——米麥其他ノ價ガ維新ノ當初ハ五圓デアツタ、今日ハ十圓内外デアツテ、四十有餘年ノ間經濟界ニ或特種ノ事情ノ生シタ時ノ外ハ、米價ハ上ツテ居ラナイ、即チ明治初年ニ各藩ガ、今日デ云フ不換紙幣ヲ濫發シタ時ハ十圓ト云フコトガアツタ、ツレカラ後ハ五圓デアツテ、今日ハ十圓、十圓ト云フハ全ク貨幣制度改正ノ結果デアサウ云フ譯ニナツタノデ、唯明治十年ノ西南戰爭ノ際ニ、不換紙幣ヲ濫發シタ後ト明治十三年頃十三圓、十四圓ト云フ相場ガアツタ、ツレカラ後明治十六七年頃ハ五圓ト云フコトニ歸ツタノデア、其他日清戰爭ノ後ト通貨ガ膨脹シタトカ、

或ハ日露戰爭ノ後ト通貨ガ膨脹シタ時米ハ三割トカ、四割トカ騰貴シタ、明治初年五圓ヲ高値ニシテ或ハ四圓ニ下ツタ、近來ハ又十二圓ヲ高値ニシテ十圓ニ下ケルト云フコトニナツテ、少シモ比較ニアラナイ、此比較ニアラナイノハ、全ク吾々ノ觀察デハ、印度ナリ朝鮮ナリノ生活ノ度ノ低イ處ハ安イ米ガ澤山出來テ、ツレガ輸入タメト考ヘル、政府ノ見ルトコロハ何故ニ是ガ比較セヌカ、相當ノ價ヲ保タナイカ、政府ノ見ルトコロガ別ニアルナラバツレヲ承リタイ、其ノ譯ハデス、農業ヲ致スノハ一番何ヲ澤山要スルコト云フト努力デア、勞力ガ一番多量ニ要スルノデア、然ルニ其勞銀ハ明治初年一人ノ賃銀七八錢デアツタガ、貨幣制度改正ノ結果、銀貨ガ明治初年一圓ガ二圓トナツテ居ルカラ、十五六錢デアレバ相當デア、實際農家ノ勞銀ト申スモノハ先ツ田舎デモ五十錢デア、都市ノ附近ニナルト六十錢、七十錢、八十錢位ニ上ツテ居ル、即チ一方農家ノ利益トナル收穫ハ、維新以來四十有餘年間、經濟界ノ變調ノ時ニ三割乃至五割騰貴スルモ、其外ハ少シモ上ツテ居ラナイ、所ガ勞銀ハ今申ス通り三倍、四倍ト上ツテ居ルノデア、ツレハドウ云フ譯デア、勞銀ガ三倍、四倍上ルノニ農家ノ收穫ガ少シモ上ラナイ、經濟界變調ノ外上ラナイト云フコトハ何故デア、政府ノ見ル所デ承リタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今千田君カラ米ノコトニ付テ御尋ガアリマシタ、御答ヲ致シマス、唯今千田君ノ御説ノ中ニ米ノ値段ハ維新以來今日ニ至ルマデ變ラヌト云フヤウナ御話ノヤウデアリマシタ、私ノ見ルトコロハ變ラヌトハ見テ居ラヌノデア、三十年ニ金貨本位ナリ、貨幣制度ノ改正トナツタデアリマスガ、此時ノ前後ヲ以テ直チニ其二倍ニ見ルト云フコトハ相當デア、即チ何故ナラバ、當時ハ金銀兩本位デアツタトコロガ、改正前ハ併シ實際ハ金ト云フモノハ働イテ居ナカッタ、銀ガ重モデアツタ、貨幣制度改正ニ付キ米價以外ノ物價ニ及ボス影響ヲ考ヘルノニ、ヤハリ金ト銀ノ相場ノ關係ヲ見テ比較スルノガ至當デア、其關係ヲ見テ米價ノ上ツタカ、下ツタカト云フコトヲ見マストデス、ヤハリ米モ他ノ物價ト共ニ上ツテ居ルノデス、故ニ維新後明治初年今日ト米ノ値段ガ少シモ變ラヌト云フコトハ、千田君ノ御覽ニナルトコロト、私共ノ見ルトコロト少シ違ツテ居リマス、ツレデ唯米ト他ノ諸物價ト比較シテ、諸物價ノ割合ニ米ガ上ツテ居ラス、勞銀ガ大イニ上ツテ居ル、其割合ニ米ガ上ツテ居ラヌハ必シモ精密ニ釣合ツテハ居ラヌコトハ御説ノ通りデアリマス、併ナカラ米ノ値段ト云フモノモ、十數年前ニ較ベマスレバズット上ツテ居リマス、ツレデ然ラバ米ガ他ノ物價ガ二倍ニナリ、其以上ニナルニ拘ラズ、何故ニ一倍、二倍半ニ上ラヌカト云フコトハ是ハイロ／＼理由ガ有ラウカト思ヒマスガ、先ツ御參考ニナラウカト思フトコロヲ御話申セバ、日本ニ於ケル米ノ消費ト云フモノヲ一ツ考ヘテ見マスト云フ、參考ニ差上ゲテアリマス、中ニモアリマスガ、明治二十二年カラ四十二年マデノ表ガアリマス、此表ニ依リマシテ日本デ米ヲドレ程消費スルカト云フ計算ヲ致シテ見タデアリマス、之ニ依リマスルト二十二年ニハ人口一人當リニ九斗二升二合ト云フモノガ出テ居リマス、ツレカラ二年、五年經ツテモ其一人當リノ消費額ト云フモノハ余リ異動シテ居リマセヌ、三十二年頃ニ至ツテ少シク増シテ居ル、併シ是ハ誠ニ僅ニ増加デア、達觀シテ見マスト云フ、米一人當リノ消費額ト云フモノハ數十年ノ間ニサウ變ツテ居ラヌ、斯ウ云フコトハ私ハ思フニ米

ノ値段が永年ノ間ニ著シイ變動ガナイ一ツノ理由デアラウト思フ

○千田軍之助君 一人當リノ消費額ハ少シモ變ラヌノデスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 一人當リノ消費額ガ變ラヌトハ申シマセヌ、サウ外ノモノ、如ク進シテハ居ラス、斯ウ云フコトヲ申スノデスカ、消費額ノ變動ガ多クナイ、即チ米ノ消費額ト云フモノハ大體ニ於テ或程度ニ止マツテ居ル、サウ云フモノデアラカラ、米ノ出來ト云フモノハ相當ニ出來テ居レバサウ値段ニ變動ト云フモノガ來ナイ、是ガ原因ノ一ツデアラウト思フ、是ノミガ原因トハ申サヌデアリマス、輸入米ノ關係ヨリ内地ノ米價ガ相當ナル程度ニ達シナイト云フ御論ノヤウニモ拜聴致シマスガ、此點ニ付テモ千田君ノ御考ニナルトコロト、吾々ノ見ルトコロト少シ違フテ居リマス、輸入米ノ額ハ年々非常ナル差ガアリマス、多ク入ッタ時モアリ、少イ時モアリマス、重モニ統計ニ依ッテ見マスト云フト、内地ノ米ノ作ノ惡イ其翌年ニハ輸入米ガ殖エテ居リマス、内地ノ豐凶ニ連レテ米ノ輸入ガ増減シテ居ルト云フ考ヘデアリマス、是ハ統計ガ明カニ示シテ居ル、而シテ其輸入米ノ割ハ年々豐凶ニ依ッテ増減ハアリマス、長イ間ヲ平均致シマス、一年ニ約二百萬石カラ三百萬石ノ間ニアルト申シテモ宜カラウト思フ、此輸入米ハ勿論食用ニナル食米バカリデアライ、飯食ニナルハ申スマデモナイデアリマスガ、飯米以外ノ菓子其他ノモノニ使ハレルモノモナカク、多イデアリマス、内地ノ米作ノ大體ノ平均ヲ申シマス、其年ニ依ッテ豐凶ハアリマスケレドモ、四十一年ヨリ十箇年前ノ平均ハ四千四百萬石トナツテ居リマス、ソレカラ二十六年カラ前十箇年ヲ平均シテ見マス、四千六百萬石トナツテ居リマス、四十一年カラ五年前ヲ平均シテ見マス、四千六百萬石トナツテ居リマス、先ヅ四千萬石以上ト見テ宜シモノデアラウト思フ、四千萬石ニ對シテ外國ヨリ入リマス、コロノ米ハ二百萬石カラ三百萬石ノ間ニナツテ居リマス、而シテ其外國米ナルモノガ絶對ニ日本米ニ代用ガ出來ルモノデアラウト云フト、ドウモサウデナイヤウニ思フ、安ケレバ外國米デ足ルト云フ譯ニハイカヌヤウニ思フ、外國米ノ需用サレマスル範圍ト云フモノハ、飯米トシテハ或區域ニ限ラレテ居ル、到底外國米ハ普通ノ飯食トシテ食フコトガ出來ヌト云フモノモアリマス、外國米ガ飽迄モ内地米ニ代用ノ出來ル——自由ニ代用ノ出來ルモノデアリマス、是ハ餘程影響ガ大キカラウト思ヒマス、外國米ノ如キ到底普通ニ日本米ノ代用ニ出來ナイモノデアリマス、其ノ上ニ輸入スルトコロノ額モ、四千萬石ニ對シテ、二百萬石乃至三百萬石ト云フ少數ノモノデアリマス、外國米ノ値段ハ内地ノ米ニ比較シテ幾分安イト云フコトハ實際デアリマス、安イケレドモ安イモノガ何處マデモ内地ノ米ヲ侵シテ、内地ノ米ノ値段ヲ大ニ引下ゲルト云フ關係ハ全クナイトハ私ハ申サヌケレドモ、サウ是レハ主タル原因トナツテ働クモノデアリナカラウト考ヘテ居リマス、米ノ輸入稅率ニ付テノ問題ニハマダ入ッテ居ラヌヤウデアリマスカ、是ガケラ御答申上テ置キマス

○千田軍之助君 政府ノ内地ノ米價ノ相當ノ價ヲ保タナイト云フノハ、消費額ガ變ラナイカラト云フノハ、大體ノ唯今ノ說明ノ理由ト私ハ承知致シマスガ、消費額ノ變ラナイト云フノハ一個人ニ就テノコトデナクシテ、國家全體ニ就テノ消費額ト承知致シマシタガ、其通リデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 消費額ト申シマシタノハ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデ

ス、内地デ幾ラ、外國カラ幾ラ入ル、其合計ガ幾ラト云フコト、ソレカラ外國ニ幾ラ輸出スル、其差引イタモノガ日本デ潰サレタモノデアラ、其潰サレタ米ノ高ヲ人口ニ割當テ、ソレヲ申上ゲタノデスカ

○千田軍之助君 サウスルト、斯ウナルノデスカ、要旨ハ外國カラ入ッテ來ル外國米十箇年ノ平均ハ一箇年二百萬石、三百萬石ノ間デアラカラ、ソレデ内地ノ相場ニ影響ヲ與ヘナイト斯ウ云フ趣意デスカ、外國カラ入ッテ來ルモノハ十箇年ノ平均デハ大シタ違ヒハナイカラ、ソレデ内地ノ相場ニ影響ハナイ、斯ウ云フ御趣意デスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御答致シマス、唯今申上ゲマシタノハ米ノ消費ハ前年ノ狀況ヲ見マシテモエライ相違ハナイ、僅ノ變動ハゴザイマスケレドモ、大體一人當リハ同ジ位ニ止マツテ居ル、ソレモ一ツノ原因デアラウ、是ノミノ原因デアルトハ言ハヌ……

○千田軍之助君 消費ノ變ラナイト云フノハ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 消費ガ増サナイ、大イニ増セバ生産ガ少ナイコロニ需用ガ多ケレバ値ガ上ラダラウ、所ガ消費ガ多ク殖エタ故ニ、サウ値段ガ多ク上ラヌダラウト斯ウ云フコトヲ説明スルタメニ申上ゲタノデゴザイマス、ソレカラモウ一ツハデスカ、外國ヨリ入ルトコロノ米ノ數量ハ至ッテ少ナイ、米ノ値段ノ上下スルノハ、主トシテ年ノ豐凶ニ原因シテ居ル方ガ重キヲ爲シテ居ルデアラウ、外國米ノ輸入モ絶對ニ全ク私ハ米價ニ關係ナシトハ申サヌケレドモ、其關係ハ至ッテ輕微ナルモノデアッテ、主トシテ内地ノ米ノ豐凶ニ依テ變動スルヤウニ考ヘテ居リマス

○千田軍之助君 政府ノ消費額ガ増サナイト云フコトハ、全ク妥當ヲ缺イタコトデ、明治初年ハ人口ガ三千万デアッテ、今日ハ五千万ノ多數ニ上ツテ居ツテ、内地ノ消費額ハ年々増加シテ居ルノニ消費額ガ増サナイト云フコトハ、全ク我邦ノ事實ト云フモノヲ御認メニナツテ居ラスヤウデアラ、消費額ハ年々増シテ居ルガ、片ツ方デ生産額ガ殖エテ居ルカラ年々格別變ラナイ、消費額ガ年々非常ニ増加シテ居ルノデスカケレドモ、ソレト同時ニ生産ガ殖エマスカラ、外國ノ輸入米ハ大シタ變リハナイト云フコトニナルダラウト思フ

○片岡直溫君 私ハ議事ノ進行ニ付テ一ノ動議ヲ提出シタイト思ヒマス、本問題ハ實ニ重要ナ問題デゴザイマシテ、一言ニ之ニ蔽ヘバ國家將來ノ運命ニ關スルト申シテモ宜シイ程ノコトデアラウト存ジマス、唯之ニ對シテ種々ノ御質問モ出マシタデアリマス、本提案提出ニ關スル當路者ノ說明ハ略々其要ヲ得タト思ヒマス、唯箇條々々ニ付テ質問スルトコロノモノハ多ク要領ヲ得ナイ點ガアルヤウニ存ジマス、又此案ニ付キマシテハ實ニ澤山ナル參考書ヲ頂戴致シタデアリマス、之ヲ一々對照シテ考フ作ルト云フコトハナカク、此短日月デハ容易ナコトデアリナイデアリマス、斯ル重要ナ問題ハ、是ハ繼續調査ヲ致ス方法ヲ執ルカ、然ラザレバ適當ナル數人ノ人ヲ選ンデ、本案ニ付テ査定サレテ、其査定ノ顛末ヲ承テ、本案ニ對スル是非ノ意見ヲ極メタルカ、此兩様ノ外ハナイト考ヘル、之ヲ斯カル多數ノ人デ一々質問ヲ致シテ居リマシタ日ニハナカク、此會期中ニ質問サヘモ了ルコトモムツカシイト存ジマス、又之ヲ繼續調査スルト云フガ如キコトモ、最早條約改正ノ時期ノ切迫シテ居ルコトデアリマシテ、當路者ノ相當豫備順序ヲ要スル期間モ要ルコトデアラウト思フ、成ベクナラバ適當ナル所ニ早ク決議スルト云フコトガ、國家ノ爲ニ必要ナル事カト考ヘマス、就キマシテハ茲ニ既ニ主査ト云フモノガ出來

テ居リマスガ、主査其人ヲ以テ之ニ充ツルノモ宜シ、然ラザレバ此委員中ヨリ六名位ノ、所謂特別委員ヲ選ンデ、當路者ト膝ヲ突合シテ研究ヲセラレテ、サウシテ此査定案ヲ作ッテ本會ニ報告ヲ得テ、サウシテ此是非ノ意見ヲ定メルコトニ致シタイト存ジマス、其特別委員ヲ更ニ選ハストモ、既ニ主査ガ出來テ居ル以上ハ、其主査ヲ特別委員ト看做シテモ、其點ニ於テハ別ニ本員ニ意見ハゴザイマセヌ、ドウカ左様ナ方法ヲ執ッテ、十分當路者ト本案ニ付テノ研究ヲ盡サレテ、此査定案ヲ報告サル、コトヲ希望致シタイノデアリマス、此動議ヲ提出致シマス

○委員長(野田卯太郎君) 如何デセウカ、マダ大體ノ質問サヘモ終ラズニ居リマスカラ、逐條ニ涉ッテ一通リノ質問ヲシテ、而シテ後ヤッテハ如何デスカ、マダ日モ二十日位ハアリマスカラ、片岡君ノ動議ハ保留シテ置クヤウニシテ……

○片岡直溫君 ソレデモ宜シウゴザイマス

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハモウ今日ハ止メタイト思ヒマスガドウデスカ——明日ハ又十時カラヤリマスカラ、ドウゾ御勉強デ、遅刻ナク御出席ヲ願ヒマス、ソレデハ今日ハ散會致シマス

午後二時四十三分散會

衆議院關稅定率法改正法律案委員會議錄(筆記)第一回正誤

頁段	行	誤	正
一上	二六	其數ヲ	理事ノ數ヲ